

委員会活動レポート



現場の声を聴いて伝えている記者と議員の仕事は似ていると説明



やってみると難しい新聞の見出しづくり



親しみやすい議会広報をめざして

●議会だより編集委員会 研修会 8月4日

議会広報は議会の内容や議員活動を広く発信して議会の見える化を図り、市民との情報共有を目的としている。議会だよりの資質向上のため、東奥日報社の販売局次長三浦博史氏とNIE・NIB推進部長鎌田浩伸氏による新聞セミナー講座を本庁舎会議室で行った。

幅広い年代に読んでもらうための分かりやすい文章づくりや広報を手にとってもらうための技術として市民を登場させる企画についてなど学んだ。三浦氏は「言葉の力を信じて地域のためになるように使っていきましょう」と話し、改めて言葉の持つ影響力と重要性を感じさせられた。この研修を活かして、見やすく分かりやすく、市民に親しまれるような議会広報の作成に繋げていきたい。

●教育民生常任委員会 所管事務調査 8月5日

【亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚】

令和3年7月27日に、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚など17の構成資産を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録された。

社会教育文化課より世界文化遺産登録に至るまでの経緯などについて説明を受けた。委員からの「ガイダンス施設の整備スケジュールは」との問いに、「来年度、ガイダンス施設建設計画を含めた整備基本計画を策定していく」との回答があった。その後、亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚の現地を視察し、遺跡の保存、活用、整備、景観保全など様々な課題があることを確認した。

【児童生徒に整備された一人一台端末】

GIGAスクール構想は文部科学省が子ども一人一人の個性に合わせたICT教育の実現を目指し、児童生徒一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するもので本市では小学校と中学校の全児童生徒にタブレット端末を配置したほか、インターネット環境等を整備して今年度から運用している。指導課より現状について説明を受けたほか、国語の授業での端末活用や児童生徒が操作に慣れ親しむ様子を動画で確認した。今後、自宅への端末機器の持ち帰りについて、どのようにしていくかなど課題はあるが、端末機器を大いに活用してもらい、児童生徒のさらなる学力向上に期待したい。



亀ヶ岡石器時代遺跡発掘調査の様子を視察



田小屋野貝塚人骨発掘跡地を視察



平川指導課長より説明